NIE実践報告

1．タイトル：受信する力・活用する力・発信する力～新聞を使って～

2．学校名

西宮市立南甲子園小学校

3．実践者名（代表者名）

井上敏雄

4．学年

第６学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間・６年児童１３２名

6．単元（本時の学習課題）名

私が見つけた新聞記事を紹介します

7．目標（狙い）

・新聞記事に興味を持って親しむ。・取材した人された人の思いを考えて伝える。

8．評価の視点

・新聞記事に興味を持って親しんでいる。
・伝える相手を意識して、正確にわかりやすく、伝えようとしている。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

１学期（総合）修学旅行のポスター型新聞を作る・（国語）投書型新聞記事を書く
２学期（総合）福祉施設訪問の壁新聞型模造紙新聞作り・（総合）ニュース原稿型記事作り〈本単元〉

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①ＮＩＥ活動として毎日学校に届く６紙を、１週間交代で、６年生４クラスで活用し、まずは新聞を読む習慣作りのための時間を確保する。
②読むこと（受信力）を高める：漫然と与えられた新聞を読む→興味のある記事を選び出して読む→１つの記事から想像を働かせたり、関連記事を探す。
③自分の考えを持つ（活用力）：興味のある記事を選び出し、なぜそれを選んだか、その記事の大切さは何なのか、それについて自分はどう思うのかを考えて記事にする。
④自分の記事をより効果的に、人に伝える（発信力）：記事に関連する写真や図表を取り入れて、画像化をはかる。アナウンサーのように、原稿と資料を、わかりやすい表現で伝える。（個人で作る→班で練習しあう→クラスで発表→全校へテレビ放送）
⑤自分の取り組みと新聞記者の記事やアナウンサーの表現の違いを見つけ、よいところを取り入れ、次の活動

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・自分が興味のある記事と、話題性があり聞く側が興味を持ちそうな記事と、伝える値打ちのある記事と・・といった視点で記事を選別でき、新聞には膨大な情報が含まれていることが実感できた。
・情報を知ることは、それに対して考えを持つことであり、他者に伝達したくなるものだと感じた。

12．成果と課題

・ほとんどの児童が、社会の出来事にあまり関心がなく、新聞を読むことはテレビ欄やスポーツ欄であったり、テレビのニュースもあまり見ない状態だった。それが、毎日、教室に新聞がある状況になると、社会面教育面などを読むようになり、そこから、関連してテレビニュースやインターネットからの情報の取り方を考えるようになった。
・受信した情報を、うのみにしてしまい、反対の意見や対応があることなどを考えさせるまでにはいたらなかった。取捨選択し、確かさを確認する目を持たせることが重要と感じた。